

おめでとうございます 白寿のお祝い

11月5日に草薙リツさんが、11月15日に細川シゲさんが99歳の白寿を迎えられ、仙北市からお祝いと花束が贈呈されました。



親子で桜植樹(旧角館スキー場)

11月3日、花葉館では、社団法人秋田県緑化推進委員会の市民グループ森づくり支援事業の助成を受け旧角館スキー場跡地にベニヤマザクラの植樹を行いました。

約50人の親子が参加し、市内の造園業者さんの指導のもと、時折小雪の舞う天気でしたが、無事苗木の植樹が行われました。



(社)仙北市シルバー人材センターのボランティア活動 ～桧木内川堤の桜胴吹枝除去・ゴミ拾い～

(社)仙北市シルバー人材センターでは、地域社会への貢献を実現する方策の一環として、またセンターの存在を広く地域社会に周知する普及啓発活動を兼ねて、各地域の公共施設等の清掃・除草・植木の冬囲いなど、ボランティア活動を組織的に実施しております。

特に北部班・中央班は、長年、桧木内川堤左岸の桜の保護保存に重要な胴吹枝の除去・ゴミ拾い作業を実施しており、今年も作業を行いました。岩瀬班は落合公園一帯のゴミ拾いを実施しました。



秋の「文化講演会」開催される

11月1日、角館図書館後援会主催による「文化講演会」が、角館樺細工伝承館において開催されました。当初から作家高井有一先生にご紹介いただいた講師は、作家・文芸評論家など幅広く、多くの文学ファンを愉ませ、今年で既に第49回を数えました。

今年は、仙台在住の作家佐伯一麦氏を講師にお迎えし、「日本の内と外から一私の文学雑感」と題し、ユーモアを交え、広い視点からのお話をいただきました。佐伯氏は、上京後に電気工などを経験しながら文筆活動を続け、1984年第3回「海燕新人文学賞」を受賞。以後三島由紀夫賞等、次々に受賞され活躍を続けていましたが、電気工時代のアスベスト被害により体調をくずし、故郷仙台へ戻り、以後の執筆活動を続けることとなりました。



講演では、電気工に従事していた頃の話から始まり、仙台へ戻り病をかかえながらの執筆活動、妻のノルウェー留学に同行して1年を過ごした時の思いや、今日へと続く様々な心の内を穏やかな口調で話され、佐伯氏の人柄を反映する和やかな講演会でした。佐伯氏は最後に「人生は織物だったり編物だったりに例えられたりするが、織物は一度織り始めたら織りなおすことはなかなかできない。だが、編み物は何度でも編みなおすことができる」と語られ、来場者は深くうなづいていました。